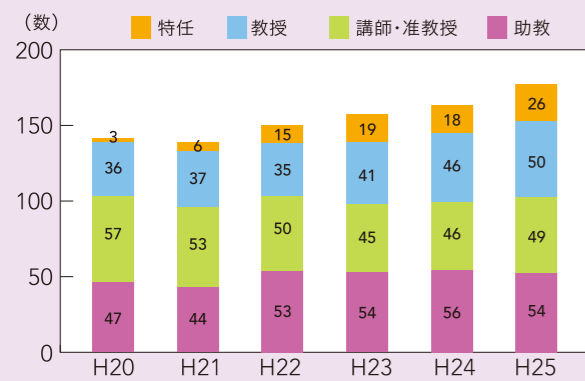


「女性研究者研究活動支援事業（拠点型）」に採択

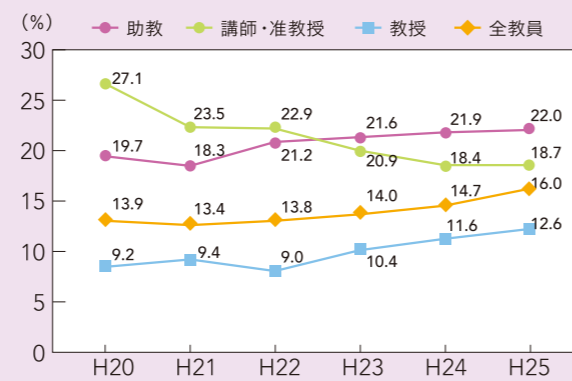
文部科学省 平成25年度科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業（拠点型）」において、「北陸地域における女性研究者ネットワーク（Hokuriku Women Researchers' Network）構築」が採択されました。

本学の女性教員数と比率の推移

●女性研究者数

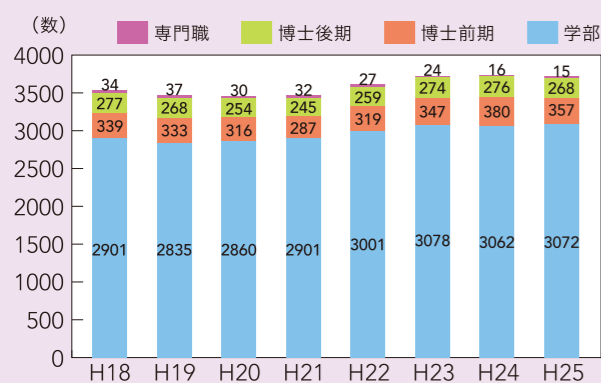


●女性研究者割合

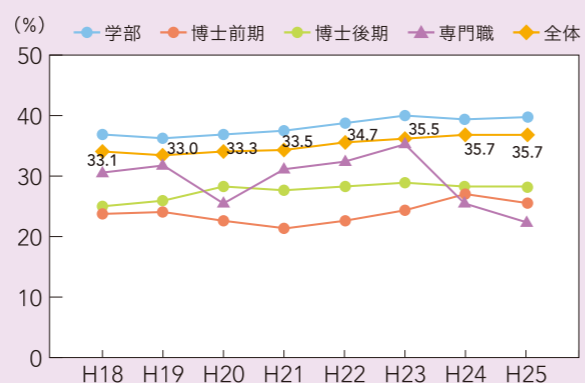


本学の女子学生数と比率の推移

●女子学生数



●女子学生割合



ラボラトリー教員

ラボラトリー長	池本 良子／理工研究域環境デザイン学系 教授	
副ラボラトリー長	坂本 二郎／理工研究域機械工学系 教授	長谷部 徳子／環日本海域環境研究センター 准教授
ラボラトリー教員	八重澤 美知子／国際機構留学生センター 教授	古畑 徹／人間社会研究域歴史言語文化学系 教授
	笠原 禎也／総合メディア基盤センター 教授	稲垣 美智子／医薬保健研究域保健学系 教授
ラボラトリー専任スタッフ	平山 奈央子／特任助教（～平成25年9月）	小越 咲子／特任助教（平成26年3月～）
	谷口 桜／プロジェクトオフィサー	瀧本 奈々／プロジェクトアシスタント

2013

男女共同参画キャリアデザインラボラトリー
平成25年度事業報告書

やる気に応えます
金沢大学
女性研究者支援

Career Design Laboratory
for Gender Equality



金沢大学 男女共同参画キャリアデザインラボラトリー

〒920-1192 金沢市角間町 Tel:076-234-6907 Fax:076-234-6908

E-mail:cd_lab@adm.kanazawa-u.ac.jp URL:http://cdl.w3.kanazawa-u.ac.jp

研究パートナー制度による教員とパートナーの支援

研究パートナー制度では、出産・育児、介護等と両立して研究活動を行う研究者の研究補助をする「研究パートナー」の雇用（半期毎）を支援しています。この制度では、研究パートナーを研究員として雇用し、パートナー自身のキャリアアップも目指しています。また、女性教員だけでなく、過去に育児休業を取得したことのある男性教員も支援対象としており、育児や介護を家庭内で分担することもすすめています。

本制度では、採用審査や報告において、制度利用者の研究実績を重視しています。（過去5年間の研究費獲得状況を審査）

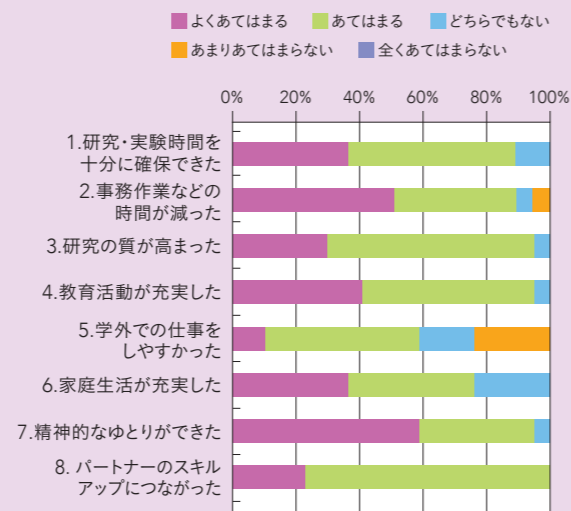
支援を受けた教員は全員が公表論文数の増加を達成し、かつ助成金獲得（科研費基盤（B）、A-STEPなど）や学会賞等受賞など活躍しています。

【2013年度の実績】

前期	制度利用者8名、研究パートナー 8名
後期	制度利用者12名、研究パートナー 12名

研究パートナー制度に対するアンケート回答結果

ほぼ全項目において「よくあてはまる」が伸び、特に「2. 事務作業などの時間が減った」項目が大きく伸びました。



各種イベント開催中の託児室設置に関する支援

2014年1月25日（土）に金沢歌劇座で開催された「HWRN キックオフシンポジウム」の託児室の設置について、公益財団法人いしかわ子育て支援財団を利用したの支援を実施しました。

出産・育児・介護に多忙な研究者の研究支援

子育て中の研究者が研究を中断することがないようにサポートすることができました。

1 2

次世代女性研究者の育成

本学女子学生には、講義において男女共同参画に関して考える場を提供し、女子中高生には、特に女性研究者が少ない理工系分野について魅力を伝えることができました。

～Beauty in Science, Technology and Engineering～ 自然科学系の女性研究者による研究紹介写真展の開催

ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー（自然科学本館G2階エントランス）、金沢大学附属図書館ギャラリーαなどで写真展「Beauty in Science, Technology and Engineering」を開催しました。



武内美佑紀さんのパネル

ジェンダー学関連講義の開催

理系のジェンダー学は火曜3限に、ジェンダー学実践編は金曜4限に、共通教育の履修科目として、ジェンダー学の授業を行いました。

講義名：「理系のジェンダー学」、「ジェンダー学実践編」
受講者の感想例：「日本はどうして先進国の中でもこんなに男女によって労働に差があるのかとても不思議でした。」「日本もこれから男女の別なく働けるような制度が整っていけば良いと思う。」「無知は特に残酷だと思った。」



(左) 武内さん
(右) 中村学長
学長賞を受賞された武内さん

女子学生交流会への協力

機械工学分野の女子学生が主体で交流会が開かれました。（2013年4月9日（火）：参加者22名）「なぜ工学系への入学を決めたのか？」という質問に対し、多くの入学生から「ロボットや宇宙工学に興味を持っていたから」との回答が得られ、今後の啓発活動の材料を得ることができました。

中学生・高校生を対象とした出前授業

愛知県立松蔭高等学校で出前授業を行いました。（2014年3月4日（火）：出席生徒数44名）



出前授業の様子

女子学生のための進路選択支援

本学オープンキャンパス（8月）および「ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー」（11月）開催期間中に、女子中高生の大学進路選択に関する相談窓口を設置しました。また、地域創造学類の主催による「イノベーションが起こりやすい環境にするために大和リースが取り組むダイバーシティ施策のご紹介（2013年10月10日（木）」で、本学の女子学生（男子学生含む）を対象に情報提供を行いました。



進路相談窓口の設置

若手女性研究者支援による雇用

若手女性研究者支援では、研究費を獲得している優秀な学位取得後の若手女性研究者を有給非常勤研究員として、雇用しています。女性研究者が将来、研究者として職を得るためのステップアップとして有効に活用されています。

【2013年度の実績】

前期	0名	後期	1名
----	----	----	----

2013年後期に採用された尹秀美さん（人間社会環境研究科客員研究員）「支援を受けられたことで、本を出版することができ、より安定して研究することができました。」



尹秀美さん

Skilled Specialist (SS) の採用

今年度新たに、がん進展制御研究所においてSkilled Specialistを1名採用しました。SSとは、女性研究者を育成するための新しい仕組みであり、女性研究者を支援するとともに、SS自身のキャリアアップにつなげます。今後の活躍が期待されます。

研究費獲得に関する情報提供

「未来を強くする子育てプロジェクト」など女性研究者を対象とする助成金に関する情報をWIL便りにて配信しました。また、ラボラトリー前の掲示板やホームページにて情報提供しました。

3 4

本学女性研究者の育成

優秀な若手女性研究者のキャリアアップのための支援や、学内の異分野の女性研究者による研究交流会を実施することができました。

男女共同参画を目指した環境整備と広報啓発

女性が活躍するための仕組み（金沢大学人材バンク）の整備や男女共同参画に関する広報啓発、教職員の意識を把握するためのアンケートを実施することができました。

金沢大学人材バンクの運用

金沢大学人材バンクは、育児や介護などによって研究時間を制限されやすい研究者に対する環境整備の一環として運用されています。「子育てなどで一時的に仕事から離れたけれども、これまでの経験を活かして働きたい」「新たな分野で活躍したい」という女性」と「人材を探している人」をマッチングするためのシステムです。興味をお持ちの方は下記URLから登録をお願いします。

<https://cdl.adm.kanazawa-u.ac.jp/TalentBankPC/Register/RegisterFlow.aspx>



グローバルCafé

WILcaféの関連イベントとしてグローバルcaféを開催しました。ロシア出身のプシマキナ・アナスタシアさんを話題提供者としてお迎えし、研究・キャリアと家庭や育児に関する考え方や経験を話していただきました。日本とロシアでの女性研究者のライフワークバランスの考え方の違いを互いに情報交換し共有することができました。



アナスタシアさん



グローバルCaféの様子

ジェンダーに関する図書の貸し出し

WIL便りの配信

本学の全教職員あてにラボの活動報告を配信しています。

男女共同参画に関する全学アンケート

男女共同参画に関する全学アンケートの収集・解析に協力しております。

Facebook公式ページおよびTwitter公式アカウントを開設いたしました

<https://www.facebook.com/cdl.kanazawa>

https://twitter.com/kanazawa_u_cdlb

* FacebookおよびFacebookロゴは、Facebook, Inc.の商標または登録商標です。
* TwitterおよびTwitterの青い鳥は、Twitter, Inc.の登録商標です。

女性研究者ワークショップを開催

1.HWRNキックオフシンポジウム中村賞受賞者講演

本年度は新たに採択された女性研究者研究活動支援事業「HWRN」のキックオフシンポジウムにおいて本学の八重澤美知子先生（国際機構）、柿川真紀子先生（環日本海地域環境研究センター）、日比野由利先生（医薬保健研究域医学系）に研究をご紹介いただきました。

2.女性医師の生き方セミナー

第4回女性医師の生き方セミナーが2014年3月1日（土）に開催されました。セミナーは、金沢市立病院臨床検査室長の小林雅子先生から「仕事を楽しむ、子育てを楽しむ、毎日を愉しむ。」、金沢大学附属病院整形外科医局長の加畑多文先生から「女性医師が躍進する時代に向けて！～医局長としての立場から、そして女性医師の配偶者としての立場から～」と題してご講演いただきました。

